

 **今日のゴール**

休みの1日を過去形3文の日記にして、友だちの質問で1文のばそう。

STEP 1

お手本を読んで、声に出してまねしよう。

なにもない日曜日の日記

① I **got up** at eleven.（起きただけで1文になる）

② I **watched** TV and **ate** ramen for lunch.

③ I **went** to bed early because I **was** sleepy.

▼ 交換すると、質問が来る

What did you watch? — I watched a soccer game.（質問の答えて、日記が1文のびる）

特別なことがない日ほど、日記は書きやすい—got up / ate / watched / went の4動詞で1日は書ける。そして、ふつうの日記ほど読んだ人の質問が生まれる。質問に答えて足した1文が、いちばん日記らしい1文になる。

STEP 2

使える表現（この中から選んで使おう）

I got up at ~.

I ate ~ for lunch.

I watched ~.

I went to ~.

I didn't ~.

What did you ~?

Where [When] did you ~?

How was it?

because ~

STEP 3

書く日を1日えらんで（きのう・休みの1日）、「したこと」を時間順にメモしよう（日本語でよい）。右のらんで動詞の過去形を先に決めておく。

れい：11時に起きた → 昼にラーメン → ずっとテレビ → 早くねた—「なにもしてない日」でOK。むしろ書きやすい

	したこと（日本語でよい）	つかう過去形（got / ate / went / watched …）
朝		
昼		
午後		
夜		

STEP 4

メモから3つえらんで、日記にしよう。1文は and か because で2つのことをつないで書く。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

なにもない日の日記—ふつうの
1日を、過去形で記事にする
【つたえる・ふりかえる】

Class_____ No._____ Name_____

STEP 5 日記を交換して、質問で1文のばそう。

できたらチェック：

- ☐ ① となりの人と日記を交換して、だまって読む
- ☐ ② 読み手は「もっと知りたいところ」に質問を1つ書いて返す（What did you eat? / Where did you go?）
- ☐ ③ 日記がもどってきたら、質問に答える1文を足す—3文の日記が4文になる
- ☐ ④ 4文になった日記を、声に出して相手に読む（聞き手は最後に How was it?）

もらった質問（英語のまま写す）	足した1文

自己評価 できたところに ○ をつけよう（正直に！）

ふりかえりの観点	◎ よくできた	○ できた	△ もう少し
① 内容 言いたいことが相手に伝わった			
② 正確さ 習った表現を正しく使えた			
③ 流暢さ あまり止まらずに言えた			
④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた			

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ 日記の最後に「あしたのこと」を1文。I will play soccer tomorrow.（will をまだ習っていないければ I want to play soccer tomorrow. でよい）—過去形の日記に未来の1文が入ると、日記は「記録」から「つづきもの」になる。

先生へ（この教材のねらいと進め方）

ねらい：中2はじめの過去形は、形はもう知っている—足りないのは「まとまった量を自分の話で書く」経験。日記が続かない原因は文法ではなく「特別なことがないと書けない」という思い込みなので、最初の題材を「なにもない日」にする。

この材料を選んだ理由：特別な話は完結していて質問の余地がないが、ふつうの日記は細部が空いている—交換すると読み手の質問が自然に生まれ、質問に答えた1文がいちばん日記らしい1文になる。書き手は過去形の肯定文、読み手は did の疑問文—交換で両側の形を同時に練習できる。

対応単元：NEW HORIZON 2 Unit 0「My Spring Vacation」／Here We Go! 2 Unit 1「Hajin's Diary」（過去形＋接続詞）。題材の日は春休みに限らない—夏休み明け・冬休み明け・ふつうの週明けで、年に何度でも使える。

進め方・見取り：見るのは、動詞の過去形（×I goed／規則形と不規則形の混在はOK）／didn't のあとが原形か／②の質問が〈疑問詞＋did＋主語＋原形〉の語順か。③で足した1文は「質問に答えているか」だけ見る—文法より先に、対話が成立したことをほめる。評価は裏面の4観点で。

△ **使う文法の範囲：**中1の既習（過去形・didn't＋and / because）だけで組んでいます。過去進行形・比較・不定詞の説明は要りません。発展の will は未習なら I want to ～ に差し替えてください。